今回セミナーに参加することができ、自分なりのこれからの課題をみつけることができました。

デンタルの撮影や口腔内写真も資料とりの一部で流れ作業になっていて、読むものという認識が足りていなかったと感じました。

またサリバテストなどのリスク判断もただ下げればいいのではなく、この患者さんはどこがリスクでどこまで改善する必要があるのかと考え、リスクになっているところに関してなぜ？を考えることが、患者さんの予防プログラムを提案するうえでとても重要だと学びました。

最近、わたしは初診の患者さんを担当することが多いのですが、医院について説明するとき、MTMをわくだ歯科の診療の流れとして説明していて、なぜこの流れで行っているのかとゆう一番大事なところが伝えられていなかったときがありました。

セミナーの中でMTMの価値を決めるのは患者さん、という言葉聞き、私たちがどんなに価値を理解していても患者さんに伝えきれてなかったり、価値を感じてもらえていなかったら意味がないことだと思いました。

そのためにもただ伝えるだけでなく、一つ一つの行為に対して結果をだしていかないといけないと思い、それが自分に足りていないところだと感じました。

セミナーを終えて、今までやっていたことを見直すこと、病因論を理解すること、リスク評価ももっと深みのあるものにしていくこと、結果をだしていくことなど自分なりの課題を見つけることができました。

私は学んだことを診療に生かすために、予防がどんなに重要なことなのかということを、カウンセリングから、サリバテストの結果の説明、再評価時にいろんなかたちで説明するようにしたり、サリバテストの結果も説明前にデンタルや口腔内写真を見ながらリスクを考えたりするようにしています。また今まではSRP後の再評価も患者さんに説明するためのものと考えていましたが、自分の技術の評価でもあると考えるようになりました。

意識をかえるだけで、もっと患者さんのために頑張ろうという気持ちになり仕事も楽しくなりました。

今までMTMが確立されたなかで仕事をしてきたので、現状に満足していてこんなに仕事に向き合ったりしたことはなかったと思います。

そして歯科衛生士の仕事が人の役にたつ職業だと改めて感じました。

この環境で仕事ができることに感謝してこれからも頑張っていきます。

今回受講は3回のみでしたが、学びがたくさんあり参加できてよかったと思っています。

本当にありがとうございました。

わくだ歯科 歯科衛生士

飯田瑤子